

事業所における児童発達支援自己評価結果（公表）

公表：令和5年4月28日

事業所名：こども発達支援センター

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|-----|------------------------------|------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 設置基準を遵守している。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | 設置基準を遵守している。 | 設置数を充足する。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 余計な刺激が入らず視覚的にわかりやすいよう工夫している。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 安全、清潔に努めている。 | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | | 夕礼時や職員会議にて振り返りを行っている。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 保護者アンケート等ニーズの把握に努めている。 | 保護者の意見、ニーズを引き続き支援に反映させている。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 練馬区のホームページで公表している。 | 結果に示された意見、課題を職員で共有し検討している。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | 第三者評価を実施した。 | 評価結果は職員で共有し、業務改善に活かしている。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 研修計画をたて実行中。 | 研修を職員が受けやすくしたり内容の充実に取り組んでいる。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 計画はクラス全体で検討している。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 知能検査、発達検査を実施 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | ガイドラインに沿った支援を行っている | 継続 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|---|----|-----|---------------------------|--|
| 適切な支援の提供 | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 年度に3回の見直しをしている。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | クラス毎の会議を設定 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | こどもの特性発達に応じてプログラムを工夫している。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 朝礼、クラス毎の打ち合わせで確認。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 夕礼、クラスごとの振り返りを行っている | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| | ⑳ | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 概ね導入期一前期一後期一終了時にモニタリングを行い見直しをしている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 関係機関の子育て事業に参加 | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | 令和2年度より居宅訪問型児童発達支援を実施している。また医療的ケア児支援も検討中 |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 幼稚園、保育園との連携会議(引き継ぎ)、サポートシートの作成支援を実施している。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 就学支援シートの作成、保育所等訪問支援での接続期支援を実施。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 連携会議に職員を派遣している。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|--|----|-----|----------------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | コロナ感染の状況を踏まえ、交流機会を持って行く。 |
| | ㉑ | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | | | 該当せず。 |
| | ㉒ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 療育終了後に保護者との懇談を実施し、個別に短時間の情報交換、療育内容の報告を行っている。 |
| | ㉓ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 懇談や面談時にペアトレの視点も含め支援を行っている。 | |
| 保護者への説明責任等 | ㉔ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| | ㉕ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |
| | ㉖ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | |
| | ㉗ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者懇談会が交流機会となっている。 | |
| | ㉘ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | マニュアルに沿って対応している。他の専門職との連携も図っている。 | |
| | ㉙ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | クラス便り、活動カレンダーなどを月毎に発行している。 | |
| | ㉚ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 研修を実施。 | |
| | ㉛ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | お便り、活動カレンダー、掲示板を利用。 | |
| | ㉜ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | |
| | ㉝ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | マニュアルの内容や訓練内容について保護者への周知や訓練参加も内容によって呼びかける。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|-----|---|------------------------------|
| 非常時等の 対応 | ④2 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | ④3 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している | ○ | | 保護者、看護師、担任と 情報を共有し 連携している。 | |
| | ④4 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている | ○ | | 保護者との情 報交換をして いる。 | |
| | ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している | ○ | | 夕礼時に報 告共有して いる。 | |
| | ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会を設置し、職員 研修に組み入れている。 | |
| | ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している | ○ | | | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。